

オンリーワン

この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障害当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、協同で作成したものです。

バリアフリー
ペーパー

6月号

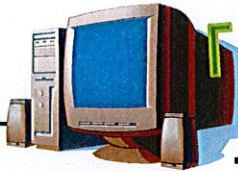
平成 22 年 6 月 22 日 発行

偶数月発行



6月に入り、梅雨の時期となりました。毎年ジメジメと、雨の降り続くこの季節は、何となく気分が憂鬱になります。ですが、もうすぐ2歳になる娘は、「雨雨～♪フレフレ～♪」と歌を口ずさみながら、傘をさし、長靴を履く雨の日を「特別な日」として楽しんでます。私も楽しみ上手な子どもを見習って生活の中に新しい発見や小さな幸せを見出すことができたらと感じる今日この頃です。

（支援センター津島）



「第3回パソコン入門講座」

・・・「パソコン入門講座」責任者としての想い・・・

入門講座も今回で3回目となります。責任者として、色々な計画が頭の中をよぎります。前回の反省点の改善や、新しく試みる点などを何日も検討しました。「参加して良かった。」「これを機にパソコンライフを楽しみたい。」と思える楽しい講座でありたいと。

今回の受講者は14名、うち新しい方も6名おられ若い方の参加に驚きました。「障害を持った若い方が、外に出て私達の所へ飛び込んで来てくれる！」こんな嬉しい事はないと、サポートの仲間達と喜んでます。休憩時にはお茶を飲み、緊張感がほぐれたらざっくばらんな雰囲気です。

新しく講座に参加された方の感想を掲載しました。西条市の当事者の方々に、一緒にパソコンを勉強できる仲間が増える事を願っています。（梅野）



【緊張の第1回目】
中央公民館

○「まずは外に出る事を」と、母が誘ってくれたパソコン教室。最初は不安だったものの、行きはじめると皆さん気軽に話しかけてくれ、回数を重ねるにつれどんどん楽しくなってきました。あと数回ですが皆さんと一緒に頑張りたいです。（スノーピー）

○色々な新しい発見があり、パソコン講座を受講して良かったです。ただ、専門用語は苦手な頭がパニックになりますが、サポートの方に教えていただいて、少しでもパソコンを使いこなせるように頑張りたいと思います。（うさぎ）

○家族の中で、パソコンが出来ないのが私だけでありまして、せめて仕事に必要な「工程表」「請求書」などがパソコンで書けるようになりたくて、講座を受けようと思いました。（伊藤孝志）

○この講座に参加して、初めてパソコンをさわりました。まだわからない事が多いので、もっと勉強したいと思います。（青野良行）

○不勉強がよくわかりました。80の手習いを始めます。（伊藤淳一）

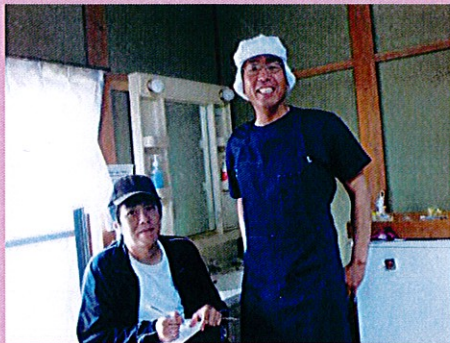
当事者の奮闘記 未来への足跡(あしあと)



今回は、西条市樋之口でパン作りをしている「ひまわり工房」さん取材して来ました。当事者のお名前は、西坂咲紀(さき)さん。今年20歳になります。特別支援学校を卒業後、この工房で働いています。少しはにかんだ笑顔で迎えてくれた咲紀さんの、パンを扱う手つきはまさに職人さんでした。アットホームな雰囲気の中で、生き生きと仕事をされています。お父さんで工房の代表者でもある西坂さんにお話を伺いました。

「ひまわり工房」は、活動を始めて今年の9月で丸2年となるそうです。立ち上げのきっかけとなったのは、咲紀さんが特別支援学校を卒業して自宅に戻って来ること。住み慣れた地域で暮らすことになるわけですが、一般就労はなかなか難しくかといってずっと家に居るのも楽しみがない。知的障害があっても、地域の人と交流が出来る場が持てないだろうか？そんなことを考えていた西坂さんに賛同してくれる仲間がいて、今の場所を借りて工房がスタートしました。

🍞 現在、定期的にパンを焼いているのは、火曜日と水曜日。その他の日は、イベントなどでまとまった注文があれば焼いているそうです。取材させてもらったのは、火曜日で一通り焼き終わった頃にお邪魔しました。焼きあがったばかりの「くるみパン」とコーヒーでお接待してくれたのですが、焼き立てはすごくおいしかったです。



「取材中のスナッフ」大岩と西坂さん



試食させてもらった「くるみパン」

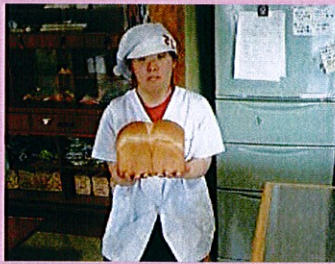
🍞 西坂さん達のポリシーは「自分たちのパンを食べた人が、おいしい!と思ってもらえる物を作りたい。そして多くの人に食べてもらいたい。」ということです。こだわりの粉を使用し、香り高くしっとりとした食感の素晴らしいパンに仕上がっています。また、値段の設定もユニーク。極力計算間違いが少なくなるように、ほぼすべての商品を1個100円としています。材料費の違いは、パンの大きさに調整。これなら売るほうも買うほうも、わかりやすいですね。

🍞 取材の日は、当事者2名スタッフ8名で作業をされていました。交流の場がパンを焼くことになったのは、手伝ってくれるスタッフの中に「パンの先生」がいたからだそうです。

🍞今では手伝ってくれる人の数も増え、15名～20名が交代で工房を動かしているそうです。西坂さんによると、今の工房の位置づけは「作業所の一步手前」なんだそうです。採算度外視でスタートし、やっと分配金（お給料）が少しだけ払え出したばかり。将来的には、法人を立ち上げることなども視野に入れ、「やりがい」のある工房を模索しているとのことでした。支援センターの職員もパン作りに挑戦させてもらえました。感想は、「想像以上に弾力があって、思うように形を作るのが難しかった。」とのこと。



抹茶パン作成中の咲紀さん



食パン作りは咲紀さん担当



出荷を待つ完成したパン

🍞さて、お父さんである西坂さんも不思議に思っていることがあるとか？工房は通常午前6時から作業開始なのですが、咲紀さんは近所にあるコンビニに毎朝行って、買い物をして来るそうなんです。「お金のやりとりは、わからんはずなんやけどな？」と言いつつも、コンビニに行って様子を聞くこともせず、咲紀さんの自主性を尊重してあたたかく見守っています。

どの障害でもそうだと思いますが、個人の頑張ることのできる力を信じ尊重しながら接したいものです。そして、「ここぞ！」という時にはすぐにサポートできる存在でいられること。ひまわり工房さんの関わりから伝わってきたことです。

これからも、おいしいパンを作って下さいね～！（^）v（大岩）



「ひまわり工房」のパンをどこで購入できるかを書いておきます。

- 西条地方局売店（火曜日）11：30～
 - 西条市総合福祉センター アクアホール（火曜日）10：00～
 - 結々亭（水曜日）11：30～ 【うどん店 伊曾乃神社南 保国寺そば】
 - ギャラリー茶屋 なーや（隔週の水曜日） 【西条市舟屋の諏訪神社西】
 - バザー・文化祭など
 - まとまった注文があれば随時（配達可） ☆予約をお願いします。m（ ）m
- 連絡先 090-2821-7961（西坂まで）





のぶちゃん・おーちゃんのべすとしょと



「三色の藤」

5月2日に大洲市肱川町にある「猿ヶ滝公園」に行ってきた。「紫」「白」「ピンク」の三色の藤が同時に楽しめるのが特徴です。三色を1枚の写真に入れたかったのですが、物理的に無理で2色です。ごめんなさい。ちゃんとピンクも咲いていましたので～(^^)v

撮影：おーちゃん



「継ぎ獅子」(つぎじし)

毎年5月3日に今治市の野間神社で行われる「継ぎ獅子」です。継ぎ獅子は、大人が2～3人肩に乗って立ち、最上段に子供が乗り完成となります。観客はみんな、小さな子供の演技にハラハラしながら息をのんで、落ちないように成功を祈って、見守っていました。

撮影：のぶちゃん

編集後記

先日、新居浜市のわかば会主催で、大阪府箕面市による先進的な障害者就労の取り組みを聞く機会がありました。目指しているのは賃金に公的資金が充当される「社会的雇用」。一般就労と福祉的就労の間の新しい働き方です。箕面市では、補助金を柔軟かつ効果的に利用し、職人や企業の協力により、品質の向上、販売ルートの開拓に取り組み、年金と賃金で自立を可能にする所得が保障されるなど、市内全体でレベルアップに取り組んでいました。最近、地域の作業所さんを中心に取材をさせてもらっています。一生懸命ものづくりに取り組んでいるみなさんの姿を見ると、障害のある無しに関係なく、頑張って働いた正当な対価が得られることが当然であるという感覚を、私達は持っていないといけないと改めて感じます。(支援センター青野)

* 交流サマーキャンプのお知らせ *

今年度も、障害のある方や関係者の方たちを対象に、西条市障害者団体連合会主催の「第3回交流サマーキャンプ」が行われます。自然の中でみんなと交流し楽しい思い出をつくりましょう。

日時 平成22年8月21日(土) 10時～15時

場所 石鎚ふれあいの里 ※無料送迎バスがあります。

定員 約40名

費用 1000円

問い合わせ先 西条市障害者相談支援センター(青野・津島)

多くの方の参加を

お待ちしております♪



発行：西条市障害者相談支援センター(西条市社会福祉協議会)

編集：オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布 606 番地 1 西条市東予総合福祉センター内

TEL : 0898-64-2600 (代)

FAX : 0898-64-3920

E-mail : soudan-saijo@galaxy.ocn.ne.jp